

第 6 回顎口腔機能セミナー単行本(新刊)のお知らせ

この度、日本顎口腔機能学会では、2009年8月21～23日に開催されました**第6回顎口腔機能セミナーの単行本『顎口腔機能の評価』を発刊いたしました。**単行本をご希望の方は、学会事務局(八木印刷、下記連絡先)または学術大会会場にて入手可能となっておりますのでお申し込み下さい。

なお、第4回、第5回顎口腔機能セミナー単行本『咀嚼・嚥下機能の検査法』および『顎運動および筋電図検査法』も頒布しておりますので、併せてお申し込み下さい。

『顎口腔機能の評価』(新刊) (A4版/96p, 会員:1,000円, 非会員:3,000円,
2010年3月発行, ISBN978-4-9903352-2-9)

<目次>

顎運動の測定と解析…………丸山智章

下顎運動解析法のいろいろ…………服部佳功, 佐藤智昭, 小嶺祐子, 田中恭恵, 猪狩洋平

筋電図測定法 —筋電図記録の基本と実際—…………佐々木啓一, 埴 総司

超小型コードレス筋電図計による無拘束咬筋活動測定…………山口泰彦, 三上紗季, 岡田和樹

嚥下時舌圧測定によって何がわかるか? —舌圧センサシートの可能性—

…………小野高裕, 堀 一浩, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 横山須美子

簡易型舌圧測定装置を用いる最大舌圧の測定…………津賀一弘

咬合検査 —特に咬頭嵌合位での咬合接触について—…………田中昌博, 佐藤正樹

咀嚼機能評価における主機能部位の重要性…………加藤 均, 三浦宏之, 岡田大蔵, 長谷川成男

顎口腔系の機能評価のための生理学…………増田裕次, 井上富雄

ワークショップ抄録: 歩行運動が咀嚼筋活動に及ぼす影響 —咀嚼筋と四肢筋との関係について—

食品の物性が咬筋活動に及ぼす影響

2種類の舌圧計測装置を用いた舌機能評価

主機能部位ならびに習慣性咀嚼側と咬合接触状況との関連

最大咬合力, 咀嚼経路の安定性, および咀嚼リズムの安定性と咀嚼能率との関係について

第4回, 第5回顎口腔機能セミナー単行本

『咀嚼・嚥下機能の検査法』 (A4版/98p, 会員:1,000円, 非会員:3,000円,
2007年3月発行, ISBN978-4-9903352-0-5)

『顎運動および筋電図検査法』 (A4版/118p, 会員:1,000円, 非会員:3,000円
2008年11月発行, ISBN978-4-9903352-1-2)

申込先: 〒722-0001 鳴門市撫養町黒崎字松島 242
(有)八木印刷
TEL 088(685)2228(代) FAX 088(686)2828
E-mail yagi-p.c@alto.ocn.ne.jp

<申し込み方法>

・学会事務局(八木印刷, 左記連絡先)経由の場合, ファックスまたはメールにてお申し込み下さい。また, 学術大会会場では直接入手が可能となっております。